

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	第 8 回松阪市過疎地域の活性化を考える会
2. 開 催 日 時	令和元年 11 月 12 日（火） 午後 7 時～午後 9 時 20 分
3. 開 催 場 所	飯高地域振興局 1 階第二会議室
4. 出席者氏名	（委 員）◎佐々木会長、○寺脇副会長、木下会員、久保会員、堀川会員、廣本会員 （事務局） 飯南地域振興局 地域振興課 堀川課長、森本主幹、飯高地域振興局 地域振興課 高木参事、清川主査 オブザーバ 太田覚
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	—
7. 担 当	松阪市企画振興部 飯南地域振興局 地域振興課 森本 TFL 0598-32-2511 FAX 0598-32-3771 e-mail chishin.nan@city.matsusaka.mie.jp

協議事項

1. 会長あいさつ
2. 令和元年度の取組みについて
3. 地域おこし協力隊の活動について
4. 先進地視察（東吉野村オフィスキャンプほか）結果について
5. 今後の中長期的な過疎対策及び事業展開について
6. その他

議事録

別紙

第8回松阪市過疎地域の活性化を考える会 議事録

日 時 令和元年 11 月 12 日 (火) 午後 7 時～午後 9 時 20 分

場 所 飯高地域振興局 1 階第二会議室

事 項

1. 会長あいさつ
2. 令和元年度の取組みについて
3. 地域おこし協力隊の活動について
4. 先進地視察（東吉野村オフィスキャンプほか）結果について
5. 今後の中長期的な過疎対策及び事業展開について
6. その他

出席者

会員 佐々木 幸太郎（会長：松阪西部商工会）

寺脇 政彦（副会長：住民協議会推薦）

堀川 由美（住民協議会推薦）

久保 一也（住民協議会推薦）

木下 幸一（住民協議会推薦）

廣本 知律（飯高地域振興局）

オブザーバ 太田 覚（NPO法人 i sierra 代表）

内 容

1. あいさつ

会長 今回は、先進地視察に同行いただいたNPO法人 i sierra 太田代表に、オブザーバとして参加いただきます。（要領第 6 条による）。アウトドアを中心に様々な活動をされている立場からお話を伺いたい。

10 月から活動いただいている地域おこし協力隊の横山さんは、本日大阪での研修のため欠席であるが、次回から関わっていただく予定。今後の活動を楽しみにしている。

会員 （チェックインスピーチ）

2. 令和元年度の取組みについて

事務局から下記事項について説明

（1）田舎くらし移住交流促進事業

- ・地域おこし協力隊の採用
- ・松阪香肌商工会との連携による仕事バンクの創設
- ・まつさかサイクルチャレンジ in 香肌峡（秋のグルメツアー）
- ・自然体験イベント（カヌー、トレッキング）

- ・東吉野村、宇陀市との連携（広域観光ルートマップの作製） ほか
- (2) 過疎地域魅力アップ整備事業
 - ・香肌の山整備プロジェクト（高見山大峠～舟戸口、局ヶ岳登山道整備）
 - ・香肌峡PR事業（R166号井尻カーブ、波瀬駅への看板設置）
 - ・富士見ヶ原の整備 ほか
- (3) 飯南高校との連携
 - ・地域との協働による高等学校教育改革推進事業
飯南高校と共に未来を拓く地域活性化セミナー
7月22日開催、アンケート結果の報告
 - ・松阪市、飯南高校、鈴鹿大学との「飯南いいな～協定」について
 - ・下宿先の募集について
- (4) その他
 - ・指定管理観光施設（茶倉、つつじの里荒滝、山林舎）の運営について
候補者を決定。11月議会上程。令和2年度から3年間
 - ・モンベルフレンドフェア大阪への参加 11月2日、3日

会長 何か質問等ありませんか。

会員 特になし

3. 地域おこし協力隊の活動について

事務局 移住促進、飯南高校の活性化について活動をお願いしている。現在は地域の行事等に参加し、SNS等を活用した情報発信をしている。活動の幅を広げるため交流会を開催予定。12月5日（木）午後6時30分～リバーサイド茶倉にて 参加をお願いしたい。

会員 （了承）

4. 先進地視察（東吉野村オフィスキャンプほか）結果について

事務局より東吉野村オフィスキャンプの開設経緯等について復命

会長 以前は人口9,000人であった東吉野村も、一気に過疎が進んだ状況である。近年は、移住者受入れのターゲット（30代）を絞り、デザイナー・イラストレーター・建築家など手に職のある人を集めている。現地では、ある種都会的なデザインが気になった。田舎の中の都会的な空間を作り、都会の人が落ち着く空間を生み出すことにより、コミュニティを広げていく。若者を中心とした尖がった施策であり、実行力がある。

会員 キーマンには力があり、個性がある。山村留学がご縁となり、きっかけとなっているようだ。空き家は「資源」だと言われた。飯高は資源だらけだと思う。移住者は、地域に仕事が無くても手に職をつけることにより、田舎暮らしが可能であるとのこと。同様のことはなかなかできないが、飯高も活動をしていきたい。

会員 子どものバス代の8割を負担することや、寄付を受けた家屋に改装費1,600万円もの費用をかけるなど、なかなかマネはできないと思った。飯高・飯南の資源を活かすこと

しかないと思った。キーマンは、この地域を「こうしたい！」という夢があり、凄いと
思ったが、東吉野村の強力なバックアップがあるから可能である。この地域と飯高・飯
南の違いは、元気の違いだと思った。これから、飯高・飯南をどのようにしていくかを
考えるのが課題である。

オブザーバ

キーマンが言っていたことは、同じことをせず今までとは違う新しいことをしないと
現状を打破できないということ。試しに実行していくことが重要。キーマンがきっかけ
となり、クリエイターが増えたと思う。空家物件として、知人や友人にはより良い物件
を紹介するが、その他の人にはそうでない物件を紹介し、修理してもらうのがよくある
パターンとして共感、理解できた。知り合いが知り合いを呼ぶ良い循環のパターンであ
る。

5. 今後の中長期的な過疎対策及び事業展開について

事務局 新たな過疎法に当たり、新たな事業、更なる事業展開の整理が必要。

中長期的な視点から取りまとめ（中期：5年先、長期：10年先を見据えて）、次回以降
に向けての意見出し（ハード、ソフト）をお願いしたい。

（会員等からの意見は次のとおり）

（1）観光交流人口の増加を図る施策

- ・香肌峡の認知度アップが何より大切。地域内の方は少しわかるようになったが、よその人
には知られていない。継続したPRが必要。
- ・香肌のことを紹介できる場所が必要。（観光、移住、祭り、季節の花、町の施設など総合的
に情報を集約し、提供、発信できる場。カフェのように気軽に集える場づくり）
- ・この地域ならではの香肌峡の魅力を最大限活用する。SNS等を活用し、この地域の魅力、
旬な情報を官民間問わずどんどん発信していく。誰に発信するかターゲットを絞ることも大切。
- ・食は、地域の魅力である（香川のうどん、長良川の鮎など、食は全国から人を寄せられる）。
食を生かした取組みが重要。

（2）地場産業の活性化を図る施策

- ・地域の生活を支える事業者（飲食店、食料品店、小売店等）が年々廃業していく。移住者
を含め事業承継ができないか。関心がある方は見えると思う。商工会と連携し、うまく情報
発信する仕組みができないか。

（3）移住促進を図る施策

- ・最近、東京の老舗コーヒー店の方がこの地域で店を開きたいと波瀬栃谷地区に仮住まいし、
物件を探していたが、多気町波多瀬に決めたと同った。波多瀬地区は、休日に関わらず熱心
に住まい探しを手伝ったらしい。物件を探される方は、休日にお越しになるケースが多いと
思う。この地域においても、休日に対応できる体制や、移住センター的な場所があればよいの
ではないか。

・東吉野村では、オフィスキャンプが移住者のコミュニティの場、最初の入り口となっている。当地域においても市の施設や空家等を活用し、移住者や移住希望者が気軽に集える場が作れないか。

・定住という点で田舎の楽しみ方を今いる子ども、住民に伝える、植え付ける。実際に体験させる。小・中・高時代の楽しい思い出、成功体験が先々の定住に繋がるはず。(田舎の良さ…たき火、暖炉も魅力) 一度外へ出て行っても、戻ってくる循環になれば。

・香肌小学校では親子山村留学に取り組んでいる。子ども頃に自然にふれあいこと、きっかけ作りは何より大切。東吉野村のキーマンも東吉野村への山村留学は縁で、移住に繋がった。

(4) その他過疎地域の活性化を図る施策

・地域にとって小学校はコミュニティの原点。将来において宮前小学校は何としても残していきたい。

・子ども達のやりたいことを後押しできる町(地域)になりたい。

・地域おこし協力隊の横山さんは食に興味があると伺っている。地域のおいしいもの、伝統食が失われていく中で、次世代に繋げていく、残していくプロジェクトはどうか。(高齢化等による飲食店の廃業対策として、レシピを残していくなど)

・飯南高校が学校の魅力化、活性化に向け、一生懸命に汗を流している。引き続き、地域も行政も支援、連携が重要。

・現在、活躍されている地域出身者を発掘し、出身地の魅力を発信していただく。

6. その他

(1) 議会報告会について(事務局から参加を依頼)

11月15日(金)午後7時～ 飯高地域振興局2階大会議室

テーマ「中山間地の振興について ～地域防災・移住」

総務企画委員会(楠谷委員長ほか6名)が出席

(2) 次回開催について

事務局 次回は2月下旬から3月上旬(飯南地域振興局)を予定。

会長 次回開催時にもオブザーバをお招きできればと考えている。松阪香肌商工会とも関わりのあるデザイナーの方で、デザインは、「課題解決の手法」の切口という視点から、議論の刺激になると思うが如何が。

会員 賛同(事務局において日程調整等する旨、了解いただく)

以上